



大 幼



令和5年度
園長だより No.5
令和5年9月29日

トカゲの魅力に誘われて

トカゲを狙うハンターは少なくない。時には、友だちへ情は断ち切られるくらい魅力的だ。

先日、3歳の園庭でのお話。「トカゲを捕まえたよ。」と手に持ったトカゲを見せに来てくれた。しばらくすると、別の子がかごに入っている同じようなトカゲを見せに来た。「あれ、そのトカゲどうしたの?」と尋ねると、「僕が見つけたトカゲを友だちにとってもらったの」とニコリ答えた。こんなやさしいハンターに出会えてほっとした。

それぞれの思いが満たされ、共に育っていく姿は、年齢を超えてかっこよく魅力的な姿だった。



「共にぞだつ」運動会

運動会の一つの見せ場、「かけっこ」。私は3歳のかけっこで、ゴール目標としてカメラマンに背を向けて構えますので、この場を借りてお断りしておきます。3歳といえども走ってきて飛び込むとかなりの衝撃があります。私の自前のお肉ではまだまだ足りませんので、もうちょっと丸々とふっくらと仕上げ、「ドーン」と迎えたいと思います。

なお、今年の運動会には、大分大学の実習生の他に、中学校のアクトクラブの生徒も園児たちの応援団として参加します。

また、今年の運動会は、TOS テレビが取材に来てくれます。この素晴らしい環境の中で、のびのび遊んでいる園児と多くの方が関わり「共にぞだつ」園の様子を伝えたいと思います。



多様性文化の醸造にあたって



9月15日に附属校園の制服検討委員会がありました。幼稚園としては令和2年から男女共に同じスタイルのデザインで着用しています。今後もその方向で採用する予定ですが、小中学校では、子どもたちも多様性や実用性・愛着など様々な観点から考え、個に応じた着用ができるように選択肢を設けるようです。

個別最適な学びを保障するためには、子どもに関わる大人たちも「多様性」を考えなければいけません。今までの当たり前は、そうでない場合がありますし、多様の価値観を認める文化は、まだまだ醸造できているとはいえません。だから、私たちはいつも自分の姿（考えや言葉等）を鏡に映すことで立ち止まり、振り返ることが大切だと思います。

自分とは異なる意見を排除するのではなく、相手の考えを受容し、融合していく営みを一人一人がしっかり捉えられる学びをこれからも続けていきます。